

身体表現	2年 前期・後期	演習2単位	担当教員名	北澤和美 辺見ちる
	卒必 幼必 保必			
授業のテーマ及び到達目標 ① テーマ：身体表現の基礎技術、援助方法を身につける。 ② 目標 ・ 幼児の豊かな感性や創造性を伸ばし、自己を育てるための援助の方法を、主に身体活動による実技を通して考える。 ・ 表現する楽しさを味わい、自己表現力を高める。				
授業の概要 身体のいろいろな部分を自由に動かす能力、表現方法、創作能力を身につけ、全身で表現する楽しさを体験しながら、自己表現力を高めると共に、リズムダンスや表現に関する遊びの体験と指導法を考える。				

授業計画

コマ(回)	項目	内容
1	オリエンテーション	身体表現について（ねらいと内容）
2	身体表現を楽しむ	子どもの動き 音楽と動き
3		動きを楽しむ（既成のダンス）
4	リズム遊びをする	リズム遊び 模擬授業
5		リズム遊び（道具を使って） 模擬授業
6		リズム遊び（ゲーム） 模擬授業
7	身体表現の基礎運動	歩行・基本ステップ 模擬授業
8		発達と身体の動き、基本ステップ 模擬授業
9		発達と身体の動き、基本ステップ 模擬授業
10	表現力を探る	動きのスケッチ（鏡、影） 模擬授業
11		動きのスケッチ（動物、植物） 模擬授業
12		動きのスケッチ（自然） 模擬授業
13		動きのスケッチ（生活場面） 模擬授業
14	動きの発展や表現の引き出し方	言葉かけと動きの関係 模擬授業
15		言葉かけと動きの関係 模擬授業
16		言葉かけと動きの関係 模擬授業
17		言葉かけと動きの関係 模擬授業
18	表現方法	音楽にあわせて、即興での創作
19		音楽にあわせて、即興での創作（グループ）
20		音楽にあわせて、即興での創作（グループ）
21	ダンス創作活動1	テーマの決定 動きのイメージ（グループ活動）
22		創作活動
23		創作ダンスの発表（表現の違い1）
24	ダンス創作活動2	テーマの決定 動きのイメージ（グループ活動）
25		創作活動
26		創作ダンスの発表（表現の違い2）
27	ダンス創作活動3	テーマの決定 動きのイメージ（グループ活動）
28		創作活動
29		創作ダンスの発表（表現の違い3）
30	まとめ	創作ダンスの発表（卒業発表に向けて）
定期試験	定期試験は実施しない。	
テキスト	「さくら・さくらんぼのリズムとうた」 斎藤公子著 群羊社	
参考図書	「リズム&ゲームたっぷり」 明治図書 「のびのびパフォーマンス」 ひかりのくに	
教員の評価方法	授業態度（30%）、活動状況（40%）、作品発表状況（30%）の総合で評価	
準備学習等履修上の留意点	実技準備を整え・課題をもって授業に出席し、実技演習後は、成果について発表し合う。	